

—湾岸・アラビア半島ニュース—

クウェイト：内閣改造

2014年1月6日、サバーハ首長は勅令2点を発出、閣僚7名の辞任を受け入れると共に、後任の補充と閣僚の所掌変更を行った。変更点は以下の通り。

辞任

ムスタファー・シャマーリー 副首相兼石油相
サーリム・アブドゥルアジーズ・サバーハ 副首相兼財務相
ローラ・ダシュティー 計画・開発担当国務相兼国会担当国務相
サーリム・ウザイナ 住宅担当国務相兼地方自治担当国務相
シャリーダ・アブドゥラー・マウーシャルジー 法相兼ワクフ相
ジクリー・ラシーディー 社会・労働相
ナイフ・ハジュラフ 教育相兼高等教育相

所掌変更

サバーハ・ハーリド・サバーハ 副首相兼外相→閣議担当相の兼任解除
アナス・ハーリド・サーリフ 財務相→商工業相から変更
イーサー・カンダリー 通信相兼地方自治相→地方自治相を兼任
ムハンマド・アブドゥラー・ムバーラク・サバーハ 閣議担当相→保健相の兼任解除

新任

アブドゥルムフシン・ムドゥイジュ 副首相兼通商工業相
アフマド・アブドゥルムフシン・ムライフィー 教育相兼高等教育相
アリー・ウバイディー 保健相
アリー・ウマイル 石油相兼国会担当相
ナイフ・ムハンマド・アジュミー 法相兼ワクフ相
ヒンド・サビーフ 社会・労働相兼計画・開発相
ヤーシル・アブル 住宅担当国務相

なお、ジャービル・ムバーラク・ハマド・サバーハ首相、ムハンマド・ハーリド・サバーハ副首相兼内相、ハーリド・ジャラーフ・サバーハ副首相兼国防相、ハーリド・ジャラーフ・サバーハ情報相兼青年担当国務相、アブドゥルアジーズ・イブラーヒーム公共事業相兼電力・水資源相は留任。

今般の内閣改造は、国会で閣僚の喚問要求が立て続けに出されたことを受け、先の内閣の閣

僚全員が辞表を提出したことを受けたものである。これが内閣総辞職につながらず、内閣改造に落ち着いたことは、クウェイトの政府と国会との間の不毛な対立が常態化し、もはや内閣や議会の活動そのものの意義が問われる状況を象徴している。同国では、選挙の無効判決や内閣との対立が原因で、過去2年で3回の国会議員選挙、内閣総辞職や内閣改造が4回行われており、そのつど内閣と議会とが協調し、他のGCC諸国と比べて立ち遅れが目立つ開発事業を円滑に企画・遂行できるかが課題となってきた。クウェイトは、他のGCC諸国と比べれば自由な選挙、権限の強い国会を持っており、選挙や議会活動を通じて有権者・議員が首長家・政府への異議申し立てや活動の監視が可能であると解釈もできる。しかし、頻繁な閣僚人事・国政選挙が常態化している現状は、クウェイトの政治制度の優れた点よりも弊害が顕在化した結果となっている。

(高岡研究員)

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799